

10月11日、JR登別駅の新駅舎とエレベーターを備えた乗り換えこ線橋の完成記念式典が同駅舎で開かれました。

これまで、JR登別駅にはエレベーターがなかったため、観光客や市民は、大きな荷物を抱えながら階段の昇り降りをしてきましたが、新しい乗り換えこ線橋の完成により、長年の課題が解消されました。また同時に供用開始となつたバリアフリー対応の新駅舎と合わせてJR登別駅は国際観光交流都市の玄関口にふさわしく、そして、利用者にも優しい駅として、国内外の旅行者など多くの利用者をお迎えします。



▲新しい乗り換え線橋の渡り初めをする関係者

JR管内駅のエレベーター・新駅舎が完成
大きな荷物があつても快適に移動

10
/ 11

10月11日、JR登別駅の新駅舎とエレベーターを備えた乗り換えこ線橋の完成記念式典が同駅舎で開かれました。

これまでJR登別駅にはエレベーターがなかつたため、観光客や市民は、大きな荷物を抱えながら階段の昇り降りをしてきましたが、新しい乗り換え三線橋の完成により、長年の課題が解消されました。また同時に供用開始となつたバリアフリー対応の新駅舎と合わせてJR登別駅は国際観光交流都市の玄関口にふさわしく、そして、利用者にも優しい駅として、国内外の旅行者など多くの利用者をお迎えします。

創立60周年を盛大に祝う

文化協会創立60周年 記念事業

10
12

10月12日、市文化協会による創立60周年記念事業が市民会館で開催されました。今回は記念式典・記念公演・祝賀会を開催。記念式典では、協会発展に尽力した7人を表彰。同協会の小塙会長は、「市民団章でも平和で文化のかおり高いまちづくりという言葉が入っているように、私たちもまちづくりに努力する所存です」と式辞を述べました。記念公演の伝統芸能まつりでは、落語や舞踊などの披露で文化協会の60周年を盛大に盛り上げ、その後の祝賀会では、50周年以降の歩みを振り返るなど、節目となる日を多くの関係者と共に祝いました。



▲伝統芸能まつりで落語を披露する芝垣美男さん（芸名：山笑 しばかみ よしのぶ）

カント・レラで縄文の魅力を満喫 最後の登別縄文どきどきまつり

9
/ 27



▲縄文ハンター決定戦で的を狙う参加者

9月27日、のぼりべつ文化交流館カン・ト・レラで『最後の登別縄文どきどきまつり』を開催しました。

カント・レラでの最後のイベントとなつた繩文ごきどきまつりでは、火おこしや勾玉・繩文どんぐりむし・パン作り、弓矢や輪投げで点数を競う繩文ハンター決定戦のほか、館内に隠された文字を見つけ出すカント・レラからのメッセージを探そう！が行われました。

参加者は9月30日の閉館を惜しみつつ、さまざまな体験を通して繩文文化を楽しく学んでいました。

カント・レラでの最後のイベントとなつた繩文ごきどきまつりでは、火おこしや勾玉・繩文どんぐりむし・パン作り、弓矢や輪投げで点数を競う繩文ハンター決定戦のほか、館内に隠された文字を見つけ出すカント・レラからのメッセージを探そう！が行われました。

参加者は9月30日の閉館を惜しみつつ、さまざまな体験を通して繩文文化を楽しく学んでいました。



▲ロープ渡過に挑戦する子ども

2025消防・救急フェスティバル 楽しみながら火災予防を学ぶ

10
4

消防庁舎で、2025消防・救急フェスティバルを開催しました。

この催しは、消防職員と市民が身近に触れ合い、子どもたちに楽しんでもらいながら防災意識の向上を図ることなどを目的に毎年開催しており、今年は約700人の方が来場。展示されたポンプ車やはしご車を興味津々で見学する家族連れが見られたほか、毎年人気のミニレスキュー（ロープ渡過）体験やホースを使用した消火体験には、今年も多くの子どもたちが詰めかけ、何度も挑戦する姿が見られました。